

◆『家庭・学校・地域が連携した子どもの生活習慣づくりの取組』

子どもが元気！学校が元気！保護者が元気！地域が元気！ ～生活リズム習慣を確立するための取組～

宮崎県清武町立加納小学校 P T A

1 本校の概要

清武町は江戸末期に昌平坂学問所の教授・将軍直参の大儒となる儒学者安井息軒先生を輩出した「光る個性と交流が織り成す文教田園都市」を理念に上げている町である。町内には小学校3校、中学校2校の計5校がある。

本校は、宮崎市に隣接した住宅地に位置していて、本年度創立25周年を迎えた比較的新しい学校である。児童数831名、教職員46名、P T A戸数642戸の大規模校である。保護者は、地元出身は少なく、町外、県外から移り住んでいる家庭が多い。それ故、家庭で交わされている会話も地元宮崎弁でない家庭も多く、いわゆる「加納合衆国」的などところがある。保護者や地域が教育に懸ける期待はかなり大きく、P T A活動にも協力的である。

平成20年度より、県教育委員会から「子どもの生活リズム向上支援推進事業」のモニター校に指定されて、本年度で2年目を迎える。

2 取組の経緯

(1) 平成20年度～校区内の地域の協力を求めて

ア 地域の子ども会での取組

イ 「ノーテレビ・ノーゲームデイ」への取組→毎年継続実施

ウ 「かのうinフェスタ」での取組→毎年継続実施

(2) 平成21年度～町内の小学校とのつながりを求めて

エ 「サマーキャンプin青島」の実施

(3) 平成22年度～小中連携した生活リズム向上を求めて（予定）

3 取組の実際

ア 地域の子ども会での取組

初年度から全校をあげて体験型イベントに取り組むのは学校規模を考えた時に難しいと判断して、地域の子ども会が行う高齢者クラブとの世代間交流に合わせて実施した。



・木登り人形作り



・蚊帳の中での紙芝居



・手作りおにぎりで昼食

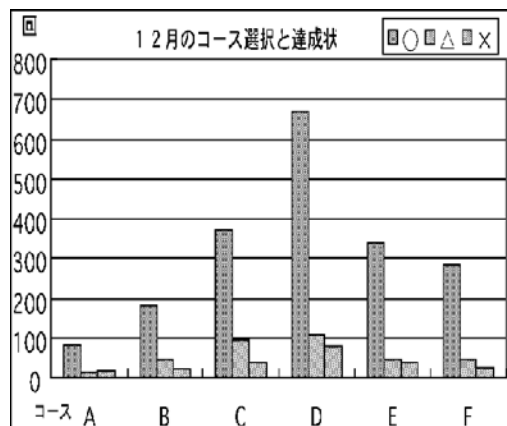
イ 「ノーテレビ・ノーゲームデイ」への取組

早寝、早起きの生活リズムを習慣化させるために、月に1週間チャレンジ週間を設定した。無理のない範囲で取り組めるようにいろいろなコースを各家庭で選択し、取り組んでもらった。(平成20年度九州地区PTAブロック大会鹿児島大会において、熊本県の上小小学校が発表された実践に学んだ。)

*選択コース

コース	内 容
A	1日テレビをつけない
B	帰宅してからノーテレビ・ノーゲーム
C	テレビ視聴やゲームは、1日1時間まで
D	食事中はテレビを消す
E	夜9時以降はテレビを消す
F	(フリー設定：各家庭独自の目標設定ができます)

【取り組んだご家庭の感想】



- 主に食事中にテレビを消すことを実践しましたが、会話が増えたり料理を一つ一つ味わえたりと楽しいことがたくさんでした。料理も工夫が増えたりして、家族みんなが喜んでいたので、これからも続けていけたらいいなあと思います。
- Eコース（夜9時以降はテレビを消す）をして、朝スムーズに起きるようになり助かっています。朝もテレビなしにして準備をサッサツとして、時間内に家を出ることが出来てよかったです。出来る限り続けたいと思います。
- テレビは好きなので、この取組は無理じゃないかなあと思っていましたが、約束はちゃんと守れていました。ビックリしました。
- まず、わが家でもできそうなコースから取り組んでみました。食事中は会話がはずみ、食事の仕方に気がまわり、しつけにもなってよかったと思います。
- なかなか一緒に何か行動するといった時間が少しずつ少なくなりつつある日々。せめて、食事の時間ぐらいはテレビをつけずに話だけで、楽しい時間が簡単に作れたらとの考えで、Dコース（食事中はテレビを消す）。「あ～うるさい！説教」と思う話も多々ある中、我慢しつつ頭の中に何か残ってしてくれることを願い、食事をしました。また、学校での出来事や考えも少し口にしたことはいい事ですね。ただ、金曜日は溜まっていたのか、ゲームの時間多しでした。（笑）
- 目標、きまりをきちんと立てて実行することの楽しさを知る良い機会となりました。
- * Fコースで「宿題や明日の準備が終わるまではテレビをつけない」とか、「平日はゲーム30分土日は1時間まで」というように、子どもと話し合ったり無理のないところから取り組んだりといった家庭もありました。

ウ 「かのうinフェスタ」での朝食レシピ紹介と調理実習の取組

「かのうinフェスタ」とは、加納中学校が新設された10年前に当時のPTA役員が保護者や地域のきずな、そして大人と子どものきずなを深めようとして始めたイベントである。今では、PTAとPTAOB、フェスタの目的に賛同する地域の人たちが実行委員会方式で企画、運営している。毎年、会場を小中学校で交代しながら実施している。

その「かのうinフェスタ」に「子どもの生活リズム向上支援推進事業」のブースを設け、朝食の大切さをアピールした。

町内小学校の栄養教諭、町栄養士、学校給食センター調理員に調理実習の指導をお願いした。



〔地産地消をアピール〕

〔わが家のみそ汁の塩分は？〕

エ 「サマーキャンプin青島」の実施

2年目の今年は、校区内にある2つの小学校と清武町青少年健全育成会に呼びかけて、サマーキャンプを計画し、集団生活を通して、規則正しい生活リズム体験活動を行った。

- 期 日 平成21年8月1日（土）～8月2日（日） 1泊2日
- 会 場 宮崎県青島青少年自然の家
- 内 容

野外炊さん



夜スベ



日の出を浴びながらラジオ体操



砂浜清掃



海で遊ぼう！ボディボード体験



4 成果と課題

- (1) 成果
 - ・ 毎月実施した「ノーテレビ・ノーゲームデイ」の取組は大変好評で、保護者にもかなり意識付けができてきた。
 - ・ 年時ごとに、地区内→町内→小中連携という活動の見通しを立てたことで、活動に深まりが出てきた。
- (2) 課題
 - ・ 活動計画立案やアンケートの集計等にかかなりの時間を要するので、役割分担をしていかなければならない。

5 問い合わせ先

団体・学校名等 宮崎県清武町立加納小学校PTA
 TEL 0985-85-3100
 FAX 0985-85-3583